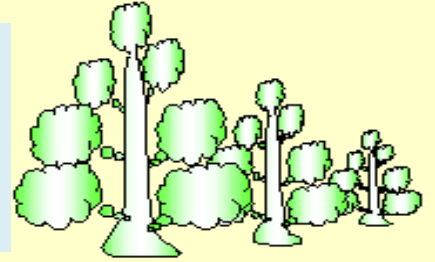


■ 身近にできる社会貢献活動を

本年度より社会貢献委員会が発足し、活動を開始しました。また、全国各支部で特徴ある取り組みも実施されています。社会貢献は幅広い活動ですが身近にできる社会貢献活動について、「地球温暖化防止に私たちができること」2011.10に掲載されました、永井 武(社会貢献委員)さんの取り組みの内容について紹介します。



植樹は CO2 吸収活動

社会貢献活動というと、その言葉の大きさについて身構えてしまいます。地域や行政を巻き込んだ活動もありますが、身近な社会貢献活動(ささやかな節水でCO2削減)として各自できる範囲で活動を探し、身の丈活動を進めては如何でしょうか。

今回栃木支部会員の事例を紹介します。支部では会員にエコライフ活動の一層の参加をお願いし、具体的には、次の活動を進めてきました。



- ① ゴーヤの種を配布、プランターを使っての緑のカーテンで涼しい夏を演出する。
- ② 同時にゴーヤの料理を紹介し、楽しんでいただく。

しかしながら、ゴーヤは大量の水を必要とする植物で日々の水遣りに苦労します。また水道水の消費もバカになりません。

そこで雨水の利用を考えパナソニック電工製雨水貯蔵タンク(レインセラー)が市水道局の補助金対象であることをキャッチ、夏の節電対応に満悦、支部HPで紹介しました。

雨水貯蔵とは、降った雨水が地面にしみ込まず雨水管に一気に流れるのを防ぐ雨水貯留浸透施設でその一つに雨水貯蔵タンクがあります。(宇都宮市水道局HPより抜粋)

実際に設置した結果、設置作業は1時間程度で完了し、雨天の日には半日で約150リットルの雨水が貯まり、節水と節約ができると共に、バイ・パナソニックにも寄与できました。

社会貢献活動の進め方には仲間が集まり対応する活動と個々の環境の中でできる活動がありますがいずれの活動でも夫々が考え、実行することが大切と思います。

今年度の社会貢献活動方針は「貢献一流」で、地に足をつけた「地域・エコ・環境」活動を推進することですが、どの視点からでも社会へ貢献可能です。できる範囲で、又、興味のある分野の活動へ参加し社会へのお役立ちに貢献しませんか。

CO2削減とバイ・パナソニックの実現に貢献しましょう。

「地球温暖化防止に私たちができること」 2011.10掲載

生活を見直し
出来るものから
始めてみましょう。



2011.10.2

パナソニック松愛会

横浜東支部 エコ担当 小川友通